

2024年6月4日

株式会社博報堂 DY ホールディングス

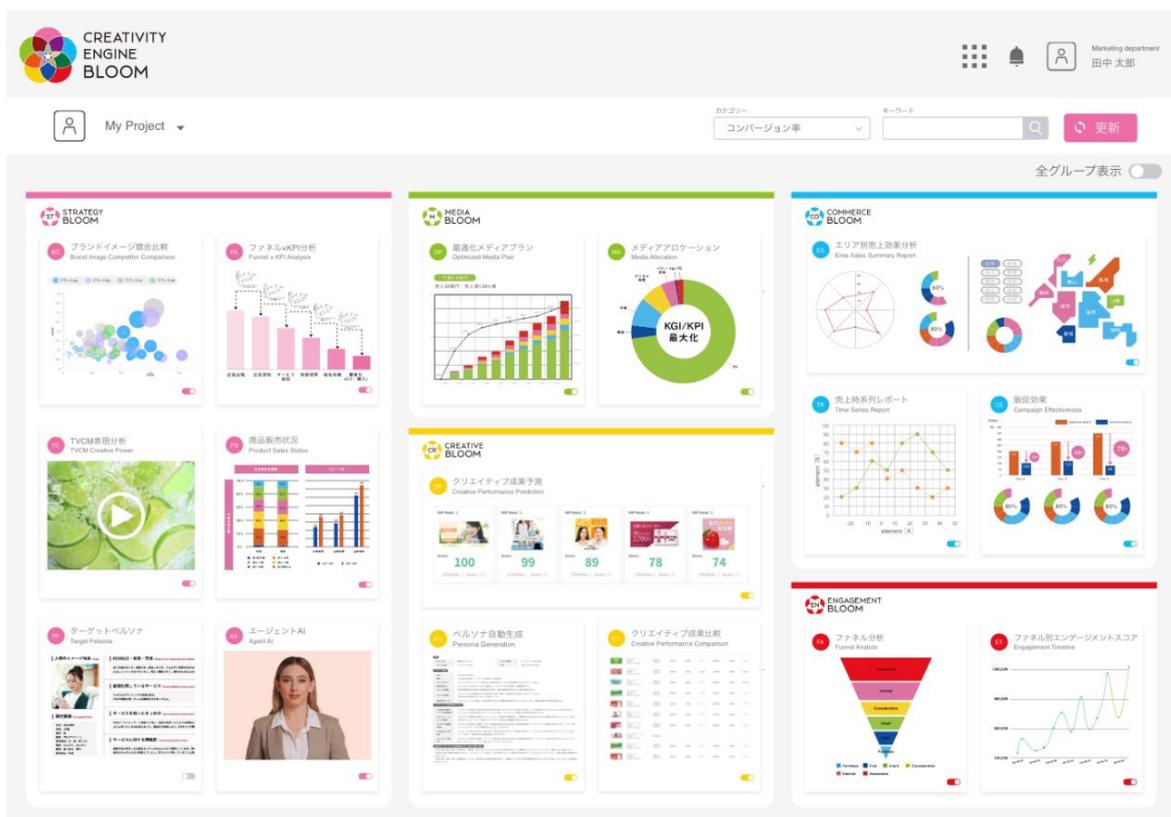
博報堂DYホールディングス、新しい統合マーケティングプラットフォーム 「CREATIVITY ENGINE BLOOM」を開発 ～AI技術を駆使し、マーケティングプロセスの高速PDCA化と高度化を実現、 企業の価値創造を支援～

株式会社博報堂DYホールディングス（東京都港区、代表取締役社長：水島正幸、以下 博報堂DYホールディングス）は、マーケティングやクリエイティブ、メディア、流通など、これまでそれぞれの領域で個別に扱われていたデータやツールを掛け合わせ、統合マーケティング戦略立案やビジネス開発支援、社会課題解決のアクションを生み出す新しい統合マーケティングプラットフォーム「CREATIVITY ENGINE BLOOM(クリエイティビティ エンジン ブルーム)」を開発しました。

「CREATIVITY ENGINE BLOOM」は、メディアビジネスやデジタルマーケティングなどのマーケティング領域での活用はもちろん、クリエイティブ制作支援領域、販促・CRMなどコマース、流通領域までを含む顧客接点をワンストップで統合・管理できるプラットフォームです。博報堂DYグループが保有するデータや先端テクノロジーを掛け合わせ、AI技術を活用した領域横断による新しいコミュニケーション開発やビジネス創造を実現します。

「CREATIVITY ENGINE BLOOM」は、まず当社グループ社員での利用を開始し、クライアント企業への統合マーケティング提案プロセスの効率化・高度化を実現します。また、異なるクリエイティビティを持つ博報堂DYグループの人材やスキル、ナレッジを重ね合わせ、より進化したマーケティングビジネスを実現し、クライアント企業の事業創造や新たな市場へのチャレンジをより強力に支援いたします。中長期的には、クライアント企業へのツール提供サービスも見据えて、プラットフォーム開発に取り組んでまいります。

「CREATIVITY ENGINE BLOOM」は、その中心にマーケティング戦略を描く<STRATEGY BLOOM>をおき、これにメディア効果を最大化する<MEDIA BLOOM>、生活者によりよいクリエイティブを提供する<CREATIVE BLOOM>、生活者のよりよい買い物体験を支援する<COMMERCE BLOOM>、生活者との新たな関係を構築する<ENGAGEMENT BLOOM>の5つのモジュール群が相互に連携しあうことで機能します。

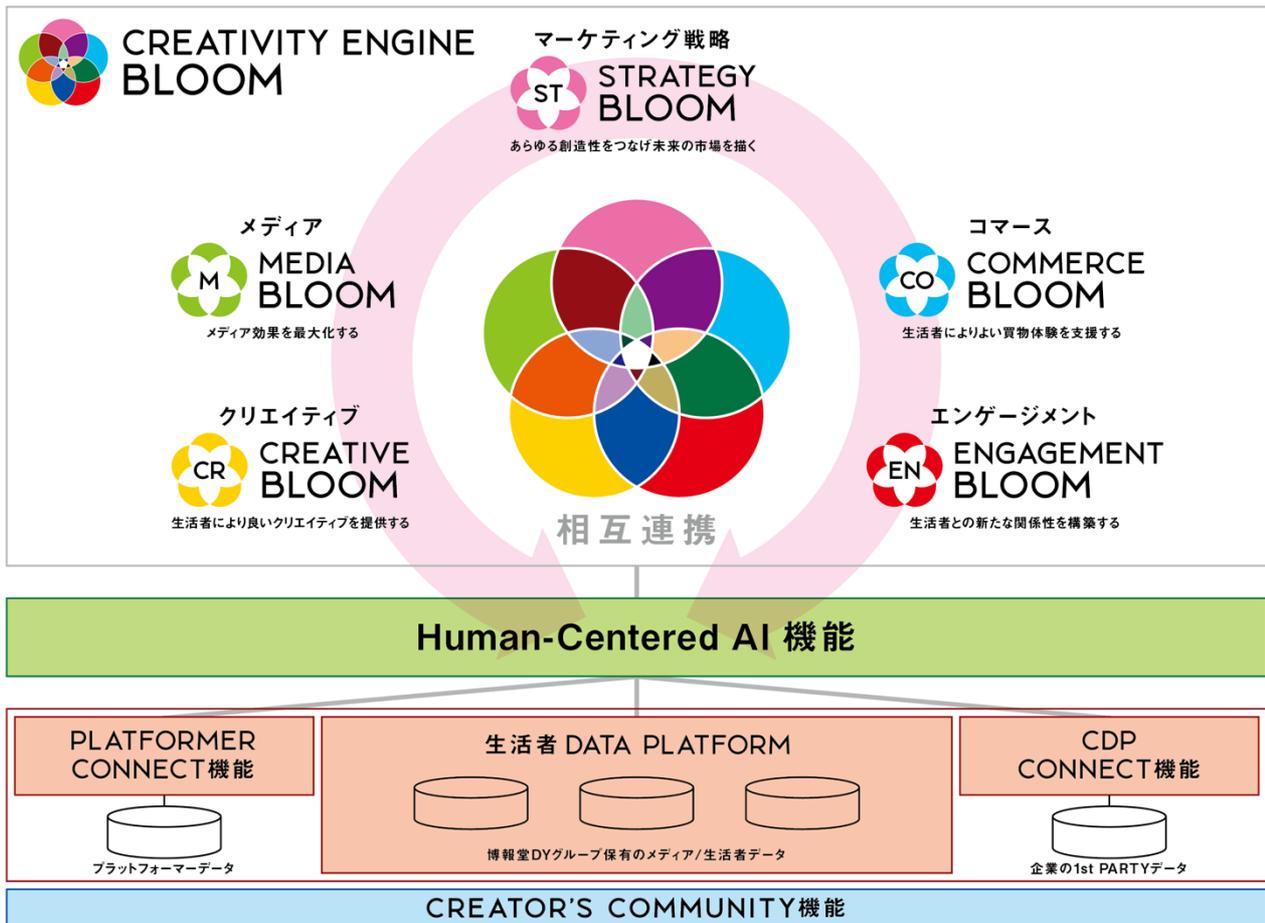


これらを支える仕組みとして、アルゴリズムやロジックを構築する独自の AI 技術<Human-Centered AI 機能>を開発しています。この機能は、4月に新設した人間中心のアプローチで AI 技術の先端研究開発を行う「Human-Centered AI Institute」の研究成果も活用し、今後さらに進化していく予定です。博報堂 D Y グループが有する膨大な生活者データを装備した<生活者データプラットフォーム>やプラットフォームやクライアント企業のデータとも連携する仕組みを構築しています。また博報堂 D Y グループ内の社員、多様なクリエイティビティを持つ人材同士をマッチングし、新たな関係価値を構築する<Creator's community>などの機能も開発していきます。

博報堂 D Y グループは、昨今のビジネス環境が激変する中で、当社グループが戦う領域や収益モデルなど、あらゆる面で大きな変革が必要と認識しています。そして大きな変革の岐路において、2024年度からの新中期経営計画では目指すべき姿として「従来の“広告会社グループ”の枠を超え、“クリエイティビティ・プラットフォーム”へ」と進化していくことを決めました。今まで培ってきた生活者を起点としたクリエイティビティをエッジに、生活者・企業・社会をつなぎ、新たな関係価値を生み出すことで、未来を創造するグループを目指していきます。この提供価値を実現するコアエンジンとして「CREATIVITY ENGINE BLOOM」を開発しました。

統合マーケティングプラットフォーム「CREATIVITY ENGINE BLOOM」は、当社の「統合マーケティングプラットフォーム推進室」がグループ各社と連携しグループ全体の戦略的ビジネス課題に対応するプロダクト企画を推進し、高度なテクノロジーリソースを持つ博報堂テクノロジーズがその開発・実装を担って進めています。今後もマーケティングビジネスを支援するプロダクトサービスおよびツール開発を両者一体となって推進していきます。

【「CREATIVITY ENGINE BLOOM」のサービス体系】

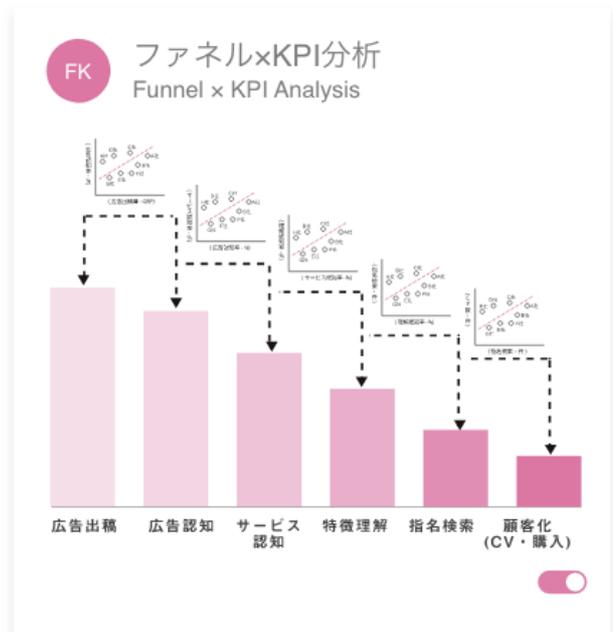
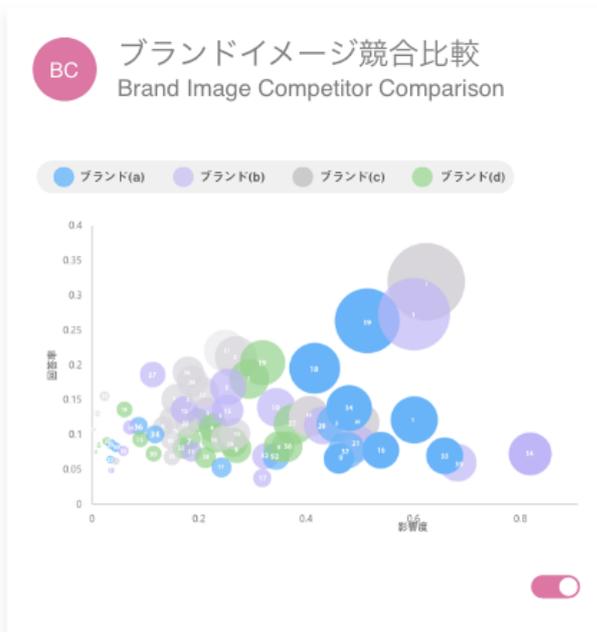


■統合マーケティングプラットフォーム「CREATIVITY ENGINE BLOOM」の主な機能（今後開発予定のものを含む）



「あらゆる創造性をつなげ、未来の市場を描く」：ストラテジー・モジュール

博報堂D Yグループが保有するオリジナルの生活者データ、プラットフォームデータやマーケティング機能、クライアント企業のCDP連携機能を統合。ヒトの創造性を拡張する Human-Centered AI 機能やマーケティング業務を支援するテクノロジーを活用し、市場構造の可視化から、ターゲット・価値規定・KPI 策定までのマーケティング戦略をワンストップで実行するモジュール。また生成 AI を用いた博報堂D Yグループのクリエイティビティを支援するサービスの試験運用を6月より開始予定。





「メディア効果を最大化する」：メディア・モジュール

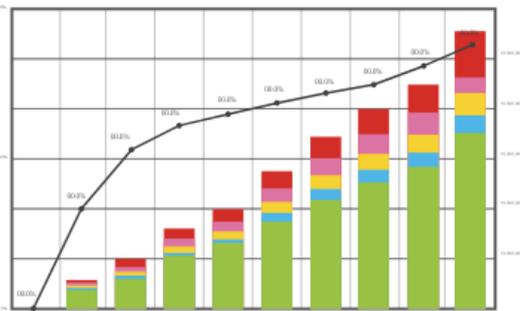
STRATEGY BLOOM で策定された戦略を当社グループが展開する、広告メディアビジネスの次世代型モデル AaaS にシームレスに連携。高度で独自性のあるアルゴリズムとデータにより、デジタル×マスメディアを横断・統合し、メディア PDCA を通じて投資効果を最大化するモジュール。メディアプランやメディアアロケーション、メディア効果のモニタリングなど最適な PDCA を支援するサービスを提供。



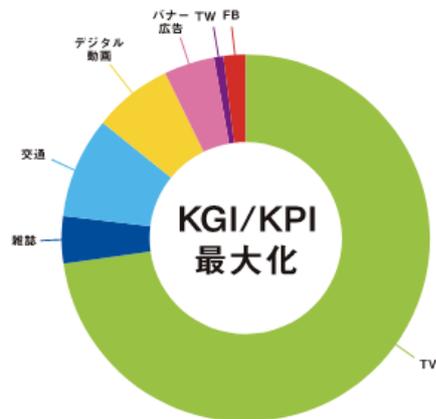
OP 最適化メディアプラン Optimized Media Plan

予算2.6億円

売上28億円：売上増128%増



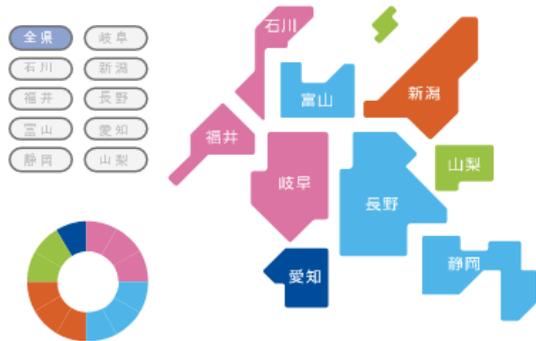
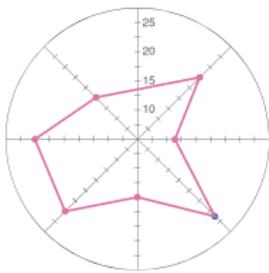
MA メディアアロケーション Media Allocation



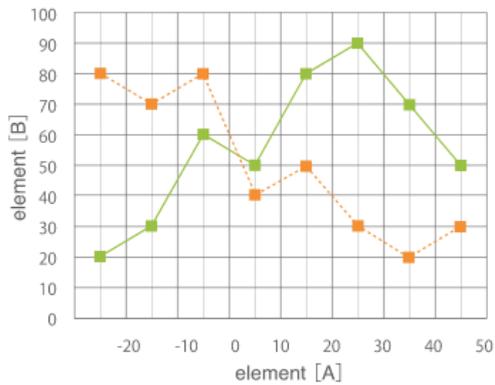
「生活者により良い買物体験を支援する」：コマース・モジュール

博報堂 D Y グループが持つオリジナルの購買データと連携し EC プラットフォームやリテールメディアと連携したマーケティングサービスを提供予定。

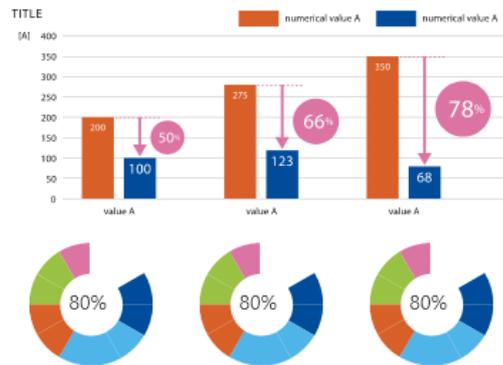
ES エリア別売上効果分析
Erea Sales Summary Report



TR 売上時系列レポート
Time Series Report



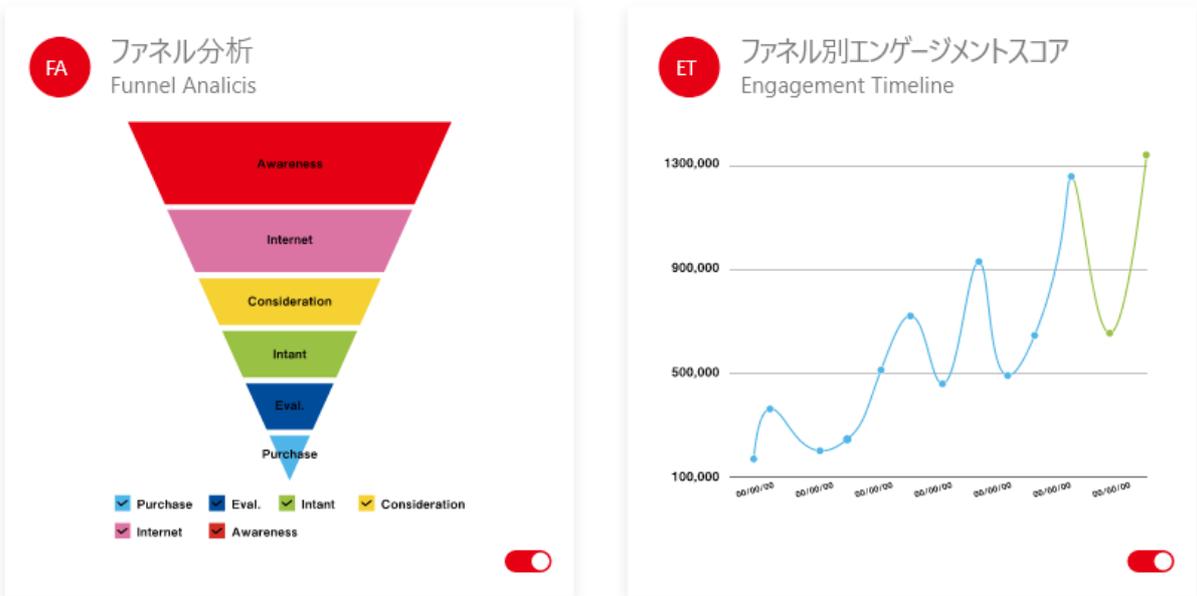
CE 販促効果
Campaign Effectiveness





「生活者との新たな関係性を構築する」：エンゲージメント・モジュール

クライアント企業の CDP と連携し、顧客の LTV 向上やエンゲージメントを向上させる One to One マーケティングを支援するサービスを提供予定。



あらゆる創造性をつなげ、
未来の市場を描く。



CREATIVITY
ENGINE
BLOOM

マーケティング、クリエイティブ、メディア、流通。
それぞれの領域でバラバラに扱われていたデータやツールを
掛け合わせることで、次のアクションを生み出す。
それが、博報堂DYグループの
新しいマーケティングプラットフォームです。
事業創造から、OnetoOneマーケティングまで。
現状分析から、未来予測まで。
ビジネス課題の解決から、社会課題の解決まで。
ひとつの領域だけでは実現できなかった、
新しいコミュニケーションを、新しいビジネスを、
AIがサポートしながら創造していく。
生活者、企業、社会、一人ひとりの内なる想いは、
きつとここから花開くはず。

【本件に関するお問い合わせ】

株式会社博報堂 広報室 平原・倉品 TEL:03-6441-6161 e-mail : koho.mail@hakuodo.co.jp